

# 横浜市三殿台考古館

## 平成26年度事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

国指定史跡である三殿台遺跡への理解を一層深めるとともに、施設の特徴を発揮し、地域や市民により親しまれる施設を目指し、各種事業に取り組みました。

資料収集保管事業では、整理ボランティアによる出土品基礎整理を継続しました。三殿台遺跡収蔵の写真等の記録資料をスキャンし、デジタル化するとともにインデックスの作成を継続しました。また、三殿台遺跡及び周辺遺跡以外の遺跡から出土した収蔵資料について順次埋蔵文化財センターへ移動しています。

常設展事業では、職員による学校団体などへの展示室の解説を行うとともに、住居跡保護棟の維持管理を適切に行いました。

企画普及事業として、リーフレットを配布するとともに、火起こし・勾玉作り・土偶作り・土器作り・石器作り・拓本とり体験教室、キャンプ in 三殿台、古代人体験教室を継続実施しました。学校や地域住民、区・市が行う行事への職員派遣・協力を積極的に行い、連携を図りました。イベント等の開催に合わせ、ホームページを更新するなど、周知に努めました。

市民協働事業として、市民ボランティアによる収蔵資料の再整理を行うとともに、ボランティアによる土曜・日曜日の常設展示・遺跡ガイドを継続実施しました。刊行物・缶バッジ・土器片ペンダント・オリジナルクリアファイルを販売するとともに、新たにトートバッグを試作しました。

施設の管理運営面では、事務棟・展示棟・住居跡保護棟・復元住居・擬木標示遺構の維持管理を適切に実施しました。

利用者促進事業の一環として、「土器パズル」・「ダイヤモンド富士観察会」に続き、野外を活用した「弓矢撃ち体験」(無料)を本格実施しました。

総来館者数は、第2期指定管理期間平均来館者数目標17,500人の97%、前年度比約110%と増加しました。今後もさまざまな工夫をし、市民サービスの向上、他施設・近隣学校などとの連携や市民協働による普及活動を継続していきます。

### 1 資料収集保管事業・調査研究事業(定款第4条第1項第1号)

保管資料について整理・分類・デジタルデータ化等を行い、資料の保全を図りました。

#### (1) 保管資料再整備事業

項目	事業内容
出土品保管再整備事業	収蔵庫内の棚に保管されている出土品・遺跡調査時測量図面等を移動し、ガラス引き戸・棚の清掃を実施した。一部に書類・書籍を仮収納した。
記録資料のデジタルデータ化事業	三殿台考古館保管写真資料等のデジタルデータ化を継続(写真資料については、主に資料整理ボランティアが対応している)

	<p>写真資料（三殿台遺跡）：スキャン済みカラースライドの後処理および索引作成を継続（次年度に継続）。</p> <p>写真資料（港南台遺跡群）：55シート、1,241点、計約42.7GB</p> <p>三殿台測量図面：調査年度・調査班単位・種類別（縮尺）に分類し、ファイリングを実施、併せて索引を作成（次年度に継続）。</p> <p>三殿台遺跡全体図の再作成：測量原図を基に作成を試みた。デジタルトレースを6割程度終了（次年度に継続）。</p>
図書資料の受入れと整理	寄贈された図書を整理分類し、151冊の受入れを行った。事務室内の書棚を整理し、閲覧頻度の低い図書の一部を収蔵庫の棚に移動した（次年度に継続）。

## （2）調査研究事業

項 目	事 業 内 容
三殿台遺跡出土品の資料化	北側貝塚出土資料の注記・ニス塗り・データ化を継続。 収蔵庫収納資料台帳の作成を水洗等の基礎整理作業の進捗に合わせて継続した（次年度に継続）。
三殿台考古館収蔵資料の活用	三殿台遺跡発掘調査の映像資料（DVD）を小学校団体見学の事前学習用に貸出した。 埋蔵文化財センター「横浜の遺跡展」・歴史博物館企画展「横浜発掘物語 2015」に出土品等を貸出した。

## 2 常設展事業（定款第4条第1項第1号）

遺跡・常設展示室・竪穴住居跡保護棟・復元住居・北側貝塚の維持管理を行うとともに、団体および一般来館者見学時に、遺跡や展示品について解説を行いました。

### （1）常設展示の維持管理と展示内容の充実

項 目	事 業 内 容
遺跡案内・展示解説の実施	団体および一般来館者見学時に、職員による遺跡・住居跡保護棟・復元住居・展示室・北側貝塚について、2,200人（うち、学校団体1,650人）に遺跡案内・展示解説を行った。
常設展示の維持・管理、展示更新の実施	パネルの修繕等、維持・管理を適切に行った。弥生時代のコーナーに展示されていた古墳時代の砥石を古墳時代のコーナーに移し、弥生時代のコーナーに新たに砥石1点を追加した。大きな展示更新は行っていない。

### （2）住居跡保護棟の適切な保全

項 目	事 業 内 容
住居跡保護棟のメンテナンス等	竪穴住居跡保護棟のメンテナンスを委託し、適切に実施した（8回）。 5月24日、住居跡保護棟の窓ガラス8枚に低反射フィルム貼付工を実施し、反射による内部の観察障害を軽減した（4年間の実績：32/72枚）。

(3) 管理事務所2階の活用

項目	事業内容
管理事務所2階の活用	管理事務所の2階を体験学習室とし、記録資料の保管、遺物整理作業の場としても活用している。



低反射フィルム貼付工 5月24日 保護棟内メンテナンス 7月20日 事務所棟2階の使用状況 5月3日

3 企画普及事業（定款第4条第1項第2号）

市民や来館者に遺跡への理解を深めてもらえるように、解説や体験学習を実施し、生涯学習活動を支援しました。また、施設の有効利用と認知度・顧客満足度を高めるための事業を実施しました。

(1) 企画普及事業

項目	参加人数	事業内容
リーフレット配布		リーフレットを増刷し、来館者に配布した。
「いそっぴゴールデンウィークスタンプラリー」への参加	74人	4月23日から5月6日の期間で、「いそっぴゴールデンウィーク2014スタンプラリー」に参加した。この間の来館者36人、うち景品（缶バッジまたはクリアファイル）交換者は8人。5月6日には、磯子区のマスコットキャラクターである「いそっぴ」が来館した。 スタンプラリーに合わせてゴールデンウィーク体験教室を開催した。参加者38人
「子どもアドベンチャー2014」への参加	58人 (保護者等を除く)	「子どもアドベンチャー2014」に参加(8月19日)。 午前の火起こし：未就学児2人、小学生46人、中学生0人、保護者等28人 午後の拓本とり：未就学児2人、小学生7人、中学生1人、保護者等6人
三殿台遺跡整理ボランティア	663人	資料整理ボランティアに記録資料整理ボランティアを加えた。 収蔵資料の水洗・注記を行い、遺物収納箱105箱終了した。 記録資料整理農地、写真資料整理・デジタル化作業については前出。 4月12・17日に記録資料整理ボランティア研修を行い、2人が参加した。考古館の使命・役割、記録資料整理の内容と手順について説明。三殿台遺跡の発

		<p>掘調査の映像を視聴した。</p> <p>4月23・30日に資料整理新人ボランティア研修を行い、2人が参加した。記録資料整理ボランティア研修とほぼ同内容とし、出土品整理の内容と手順について説明した。</p> <p>7月に夏休み体験教室に向けて、随時火起こし体験補助研修を実施した。</p> <p>12月21日に体験教室の新メニュー、「拓本とり&amp;凧作り」研修を実施し、5人が参加した。</p>
三殿台遺跡ガイドボランティア	81人	<p>遺跡ガイドボランティアは年間1,161人ガイドした。新人ボランティアが0人だったため、日を定めた研修は実施しなかった。個別の対応とし、「よくある質問」や「困った質問」など、日常的な情報交換と対処方法などを話し合った。</p>
学校見学の受け入れ	2,930人	<p>年間を通じて、小・中・高・大学の受け入れを行い、56団体が見学した。</p>
博物館実習生・職業体験の受け入れ	7人	<p>8月11～17日、博物館実習生1名を受け入れた。</p> <p>1月28・29日、汐見台中学校生徒4人を受け入れた。</p> <p>2月3日、岡村中学校の生徒3人を受け入れた。</p>

クラブ活動・総合的な学習・サマースクール等への支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立岡村小学校の地域交流クラブに講師を派遣した（6月10・17日、9月9・16日、10月21・28日、11月11・25日、12月9日）。火起こし（@100）・勾玉作り（@300）各13人 売り上げ5,200円</li> <li>・市立大岡小学校6年3組の土器作りに指導講師を派遣（6月12・19日）し、7月17日に当館で野焼きを実施した。</li> <li>・に市立上大岡小学校のサマースクールに勾玉作り教室の講師を派遣した（7月25・28日）。勾玉作り（@300）51人 売り上げ15,300円</li> <li>市立岡村小学校6年生土器作りに指導講師を派遣（10月21・28日）し、11月27日に当館で野焼きを実施した。</li> <li>・市立大岡小学校2年1組「まち歩き」の受け入れ（9月17日、10月8・24日、11月5・14・20日、12月5・15日、1月14・20日、2月4日、3月13日）。平成27年2月21日の文化祭で「あそぶぞ！一二三との台いせき」として発表。</li> </ul>
ホームページの運営		<p>月一回程度ホームページを更新し、体験学習の情報</p>

		等を発信した。今年度より「年間催し物案内」を常時掲載することとした。
その他広報		(ア) 体験学習の案内チラシを年3回程度作成し、磯子区・南区内の施設に配布した。 (イ) プラネット神奈川や横浜カレンダーに情報を提供した。 (ウ) 民間への情報提供は5件であった (MAPPLE・ゼンリン・JR 東日本等)。 (エ) Google インドアビューを導入し、HPの「新着情報」のコーナーに貼込んだ。



「いそっぴ」の来館 5月6日



子どもアドベンチャー2014  
8月19日



職業体験 土器パズル作り  
1月29日

(2) 体験学習事業

項目	参加人数	事業内容
体験学習の実施	373人	(ア) ゴールデンウィーク体験教室 5月3～6日 3日：勾玉作り教室 (@300) 16人 売上げ4,800円 4日：拓本とり教室 (@100) 3人 売上げ300円 5日：石器作り教室 (@300) 8人 売上げ2,400円 6日：火起こし教室 (@100) 11人 売上げ1,100円 (イ) キャンプ in 三殿台 7月26・27日：(@2,000) 7家族26人 売上げ14,000円 (ウ) 夏休み体験教室 ①勾玉作り教室 (@300) 7月19日：10人 売上げ3,000円 8月9日：25人 売上げ7,500円 ②土偶作り教室 (@300) 7月20日：13人 売上げ3,900円 ③土器作り教室 (@500) 7月21日：15人 売上げ7,500円 土偶・土器作り野焼き 8月17日 21人 ④釣り針作り教室 (@300)



		<p>8月10日 9人 売上げ2,700円</p> <p>⑤拓本とり&amp;勾玉作り教室 (@400)</p> <p>8月13日:13人 売上げ5,100円 (勾玉作りのみ参加1)</p> <p>⑥火起こし体験教室 (@100)</p> <p>8月14日:12人 売上げ1,200円</p> <p>⑦古代人体験教室 (@500)</p> <p>8月23日 3組6人 売上げ1,500円</p> <p>⑧石器作り教室 (@300)</p> <p>8月24日:6人 売上げ1,800円</p> <p>(エ) 土器作り教室</p> <p>①秋 (@2,000) 9月21・28日、10月5日、11月9日 7人 売上げ14,000円 粘土1kg (@300) 25kg 売上げ 7,500円 延べ参加人数27人</p> <p>②冬 (@2,000) 1月11・18・25日、3月1日 6人 売上げ14,000円 粘土(@300)21kg 売上げ6,300 円 延べ参加人数28人</p> <p>(オ) 拓本とり&amp;凧作り (@300)</p> <p>12月21日 5人 売上げ0円 ボランティア研修として 実施</p> <p>(カ) 随時実施の火起こし・勾玉作り</p> <p>①火起こし (@100):141人 売上げ14,100円</p> <p>②勾玉作り (@300):11人 売上げ3,300円</p>
--	--	---

(3) その他利用促進事業

項 目	参加人数	事 業 内 容
弓矢撃ち体験の実施	1,708人 (うち、学校 団体見学时 503人)	昨年度の試行結果、事故もなく、好評であったため、本格実施することとした。弓矢・的(イノシシの絵)はすべて手作り。無料。

(4) 展示事業

項 目	参加人数	事 業 内 容
展示解説の実施	2,200人	職員による来館者への解説を実施した(うち、1,650人は小学校6年生の団体見学)。
土器作り教室作品展	1,815人 (会期中 の入館者 数)	秋の土器作り教室作品展を展示室にて開催した(11月15日~30日)。891人 冬の土器作り教室作品展を展示室にて開催した(3月9日~22日)。924人

(5) グッズ製作・販売事業

項 目	事 業 内 容
-----	---------

缶バッジの製作・販売	記念品缶バッジの製作・販売 販売価格1個 100円 1,200個を追加発注した。 26年度売上げ 489個 48,900円
土器片ペンダントの製作・販売	土器片ペンダントの販売 販売価格1個 700円 26年度売上 2個 1,400円
オリジナルクリアファイルの販売	記念品オリジナルクリアファイルの販売 販売価格1枚 200円 26年度売上 244枚 48,800円
トートバッグの試作	缶バッジ・オリジナルファイルオリジナルクリアファイル・スタッフTシャツなどのデザインを採り入れたA4横型のバッグを試作し、ボランティア等に配布してモニタリングを実施した。モニタリングの結果、縦型の方が使い勝手が良い・内側に小ポケットがあると良いなどの意見があった。販売価格については、500円・1,000円という意見があった（試作品@税込み730円）。 H26年度の結論：商品化せず、さらに検討することとした。

#### 4 三殿台考古館施設維持事業（定款第4条第1項第3号）

三殿台考古館の諸施設を日々管理し、適切に維持するとともに来館者に不快感を与えないよう運営しました。

##### (1) 三殿台考古館の管理

管理対象施設等	事業内容・所在地など
経常的な維持・管理	事務棟管理 所在地：磯子区岡村四丁目11-22 国指定史跡「三殿台遺跡」の管理 展示棟・竪穴住居保護棟・復元住居・遺構表示用擬木の維持管理。遺跡内草刈り、植栽剪定 職員の定期的な施設内巡回などの危機管理対策を実施した。
開館時間の拡大	平成26年度も午前9時から開館し、4月～9月は午後5時まで、10月～3月は午後4時まで開館した。 「キャンプ in 三殿台」の開催に伴い、7月26夕～27日朝まで、閉館時間帯の施設利用を行なった。 年2回、開館時間を日没まで延長し、「ダイヤモンド富士観察会」を開催した。当年度は9月29日に良好な観察機会があった。 ①9月25日～29日、参加延べ人数：23人 ②3月11日～17日、参加延べ人数：29人



委託業者による草刈り 7月20日



キャンプ in 三殿台 7月26日



ダイヤモンド富士観察会 9月29日



(2) 三殿台考古館施設自動販売機売り上げの推移

項 目	平成26年度	平成25年度	平成24年度
自動販売機売り上げ(円)	25,958	35,464	32,692

(3) 三殿台考古館施設入場者の推移(目標数17,500人)

項 目	平成26年度	平成25年度	平成24年度
三殿台考古館施設入場者(人)	17,047	15,542	15,409

**事業別評価**

事業名称	実施概要	評価
資料収集・ 保管事業	資料収集保管事業では、整理ボランティアによる三殿台遺跡出土品基礎整理、収蔵記録資料のデジタルデータ化、三殿台遺跡北側貝塚などの出土資料のデータ化などを継続しました。また、職員により三殿台遺跡調査時測量図面の整理を実施し、遺跡全体図の再作成に着手しました。 三殿台遺跡及び周辺遺跡以外の遺跡関係の収蔵資料について、埋蔵文化財センターへの移動を継続しました。	B
常設展事業	常設展事業では、職員による学校団体・一般団体・その他来館者へ遺跡・住居跡保護棟・復元住居・北側貝塚について展示解説を実施しました。 来館者数は17,047人であり、目標17,500人の97%、前年度比110%となりました。	B
企画普及事業	市民や来館者に遺跡への理解を深めてもらえるように、展示解説や体験学習を予定どおり開催し、生涯学習活動を支援しました。また、施設の有効利用と顧客満足度を高めるため、 <b>無料弓矢撃ち体験を本格実施することとし、平成26年度は1,708人の利用実績を上げることができました。</b> 体験教室では、いずれも参加者に高い満足度を与えることができました。 資料整理ボランティアは延べ663人が参加しました。遺跡ガイドボランティアは延べ81人が参加し、1,161人をガイドしました。 <b>活動参加者延べ人数目標600人の124%を達成しました。</b>	A